

広島県知事選挙候補者選挙公報

広島県選挙管理委員会

あなたが大事にされる広島県へ

核兵器廃絶のリーダーシップを

戦争被爆国の日本が条約に参加すれば、核保有国を含めて世界に大きな影響を与え、核兵器の禁止から廃絶へ大きく前進します。被爆県広島が知事として日本政府が条約に参加するようリーダーシップを発揮します。

金権腐敗政治をなくす

「河井大買収事件」は広島県政の金権腐敗体質を浮き彫りにしました。カネを受け取った自民党議員の政治責任を明らかにし、広島から金権腐敗政治を一掃します。

3 気候危機の打開と備え

- 危機打開は待たず、緊急行動を広島から。
- 企業にCO₂削減目標の引き上げと達成を促す。
- 石炭火力の廃止、「原発ゼロ」を実現。
- 地元合意で再生可能エネルギーを開発・普及。
- 豪雨、地震など災害対策を強化。

2 ジェンダー平等を実現

- 多様性と個人の尊厳を大切に。広島に。
- 男女の賃金格差を是正。
- パートナーシップ条例を制定、国に同性婚実現を求める。
- 選択的夫婦別姓制度の実現を国に申し入れる。
- 35人学級を中学3年までに。

**1 コロナ対策を強め
くらしに安心をつくる**

- 保健所を拡充し、公的病院の再編・統合計画を中止。介護・保育の充実。
- 子どもの医療費助成を中学卒業までに拡充。
- 中小企業振興予算を大幅に増額。
- 農業振興条例をつくり、暮らせる農業に。
- 学生への県独自の給付型奨学金を再開する。

**カラフルな広島県へ
あなたとつくる3つの希望**

広島県の年間予算は約1兆円。広島県にくらす全ての人を大事にするカラフルな広島県へ、あなたとくらしに3つの希望をすすめます。



日本共産党
**中村
たかえ**

プロフィール 1985年生まれ。広島市南区出身。広島経済大学卒業後、広島市内の病院の事務職員として勤務。日本民主青年同盟で、青年の実態調査や要請行動などに取り組んできた。

河井選挙違反事件では被買収県議13人は不起訴
政倫審では文書警告というモヤモヤ感の残る処分です。
この事件は地方行政と議会の有様と中央と地方の権
力関係の有様を私たちの目の前にさらけ出しています。
今一度立ち止まって問題点を検証することが大切だと
思います。” 沖縄で起こることは他にも起こりうる。地
方自治、あるいは民主主義は大変厳しくなっているの
ないか” 故 翁 長 沖縄知事の言葉です。
金権腐敗選挙を繰り返す その底に そんな泥流がよ
どんでいないのかよく観察してみることが 核禁止条約
を生み出した広島草の根民主主義を枯らさない為にも
必要だと思えます。



たるたに
昌年

安心→誇り→挑戦！

未曾有の危機からの発展的回復に全力で取り組み、
県民一人ひとりが求める安心で誇りをもって過ごせる
広島県の実現に挑戦をまいります。

新型コロナ感染症対策

- 可能な限り感染を抑制し、大きな感染拡大を防ぐことを基本とし、制御が難しい拡大が起こった場合には、「早く、深く、短く」を基本とした行動制限等により社会経済への影響を極力小さくして、ウィズコロナ時代において、トータルに感染拡大防止と日常の社会経済活動が両立することを目指します。
- そのため、若者を含め、ワクチン接種率を可能な限り高めることにより、感染拡大に対する社会としての抵抗力を高めるとともに、PCR等の検査を充実し、幅広く速やかな感染者の特定と感染連鎖の防止を図ります。
- ワクチン接種率の向上のため、接種を速う人々に対する積極的・効果的な勧奨を進めるとともに、県による大規模接種会場の設置など、市町と連携した円滑な接種体制を確保します。
- 子どもたちを感染から守りつ、学びを確保するため、オンライン授業ができるよう市町との協力を進めるとともに、承認され次第、子どもたちのワクチン接種も速やかに進めます。
- より感染力の強い変異株等に備え、中等症や重症者が適切な医療を受けられる病床数を確保するとともに、酸素センターのほか方が一の急拡大の場合にはいわゆる「野戦病院」を開設します。
- 抗体カクテル療法の体制整備、在宅療養者に対するオンライン診療など、医療機関と連携し、治療・療養に対する幅広いニーズに対応します。
- やむを得ない行動制限の際には、影響を受ける幅広い事業者に速やかな経済的支援を行うとともに、十分な支援の裏打ちとなる財源確保を国に求めます。
- 大都市圏の感染拡大が飛び火しないよう、長距離移動に対する適切な対応を国に求めます。
- 日常への回復が可能になった段階で、特に大きな影響を受けた飲食や観光事業に対する積極的な需要喚起策を実行します。
- コロナ後の新たな環境変化に積極的な対応ができるよう、新たな営業先確保やビジネスモデル進化のための中小企業支援を積極的に行います。

安心をつくる

- 住み慣れた地域で安心して暮らしていることができる高い医療・介護サービスの実現を図ります。
- 性別、年齢、障がいの有無、民族、国籍などの多様性を認め合い、支え合いながら自分らしく活躍でき、安心と活気あふれる共生の街作りを進めます。
- 子どもを持ちたいと思う人が安心して子供を持つことができる環境を整えます。
- 様々な主体と連携しながら、すべての子供たちを多面的・継続的に見守り、必要な支援を届ける「ネウボラ」を中心とする仕組みを整備します。
- その後の育ちに大きな影響を与える幼児期の教育・保育の質を高めま。
- 学びのセーフティネットを充実し、様々なチャレンジに直面する子供たちをしっかりと支えます。
- ネットカーボンゼロやプラごみゼロなど、次世代も安心して暮らせる環境を目指します。
- 頻発・激甚化する風水害などから生命・財産を守り、「災害死ゼロ」や「県民生活や経済への影響の最小化」を図るハードとソフト対策を進めます。

誇りを高める

- 新たなサービスやエンターテインメントが集まり、イノベーションが生まれる街と、豊かな自然に囲まれ、地域に愛着を持ちながら住んだり働いたりできる里山・里海をつくりま。
- 地域産物の「わかまちスポート」を楽しめる環境をつくりま。
- 農産物や水産物のブランド化により、県内外の多くの人から評価される姿をつくりま。
- 国内外の多くの人が、広島県でしか得られない価値に触れ、もう一度来たいと思われる観光地づくりを進めます。

挑戦する

- 里山や里海で、様々な人や企業が、地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業や経営発展にチャレンジし、働き続けられる環境をつくりま。
- キャリア教育、リカレント教育などを通じ、生涯にわたって学び続け、新たな環境や仕事にチャレンジし続けることができる環境をつくりま。
- 女性、チャレンジ、外国人など、多様な全ての人が、それぞれの夢や希望を実現できる社会環境と就労環境をつくりま。
- 技術革新や環境変化などに対応できるイノベーションが次々に生まれる「イノベーション立県」を実現します。
- 次の世代に安心で豊かな暮らしをつないでいけるよう、行政、産業、社会のあらゆるシーンでデジタル技術やデータを最大限活用するDX先端県を目指します。

ゆざき英彦 プロフィール

学 歴：広島大学附属高等学校 卒業、東京大学法学部 卒業
スタンフォード大学経営学 修士
職 歴：通商産業省(現 経済産業省)勤務
(株)アッカ・ネットワークス 代表取締役副社長
広島県知事(現職)

生年月日：1965年(昭和40年)10月4日 56歳
出 身 地：広島市佐伯区



無所属・広島県知事候補
ゆざき英彦